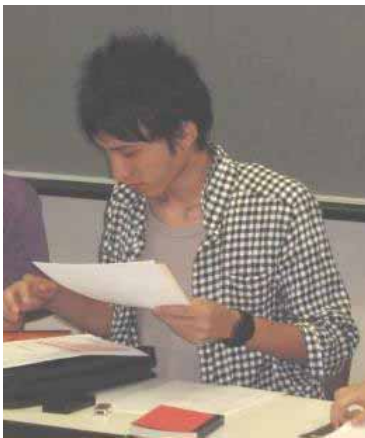


市民の手で市民活動を支える
特定非営利活動法人
宝塚NPOセンター

通信
No.53
2007.11.20

今回の「私とNPO」の書き手は、夏休みを利用してインターシップに参加した法政大学のゼミ生3名です。関西にインターンシップに来たのは、NPO論ゼミの樋口明彦講師の依頼でした。「宝塚NPOセンターは地域に根ざし、様々なNPOとつながっている中間支援組織。そこでゼミ生にはもっと様々な現場を体験欲しい」との理由からです。NPOでの体験は少なからず、彼らの進路選択の意識を変えたようです。

「私とNPO」 法政大学 社会学部 コミュニティ形成論ゼミ3回生 内田 幸太郎さん



NPOの活動に触れて一番感じたことは、やはり「パワー」です。それぞれのNPOは活動内容も対象も支援も違いましたが「支援を必要としている誰かのために何かをしたい」という情熱をどこのNPOも持っていました。しかも単なる自己満足的なものではなく、それが自分の使命であり、生きがいであると考え「俺がやらなきゃ誰がやる」的な信念を感じました。

またNPOは被支援者に対して対等の人間として向き合っており、それぞれの価値観や考え方を認めた上で、支援を行っていました。一方でNPOには労働時間が長い、賃金が安いなどの問題も数多く残されていて、行政や地域コミュニティの協力無しには存在していけず、改めてNPOの弱さを認識することにもなりました。進路選択において、「仕事」をどのように捉えるかは、人それぞれ違ってくると思いますが、僕は富や名声よりもまず、自分にとって誇りと充実感を持てる仕事に就きたいと考えています。

2回生 廣岡 夢里恵さん

今までの進路選択に関して「何となく」で来てしまった事もあって、卒業後も何となく受かった会社に入り何となく暮らすと思っていましたが、今回その考えが大きく変わりました。2回生になりNPOを勉強し、一般企業に就職するよりも苦勞の多そうなNPOで働くことにミッションがあると学びましたが、「なんで自分の生活を大変にしてNPOで働くのだろう」と疑問がありました。しかし活動している人達を見て、労働環境は苛酷でも本当にやりたい仕事を精一杯し、活動内容を話す姿がとても生き生きとしていて、私の中での疑問はなくなっていきました。そして「こんなふうに生きがいを持って働けたら」と思うようになりました。

将来NPOで働くか、どんな方向に進んでいくかはわかりませんが、これから先の人生を「何となく」いくことは絶対にやめ、そして自分が本当に正しいと思うこと、やりたいと思うことのために進路を選択していきたいと思いました。



(写真左)



4回生 藤 伸行さん

NPOには「やりたいこと」を実際にやっちゃっている人、「やりたいこと」のために格闘中の人が多い。そしてその闘いを楽しんでいるように見えた。そういう人には面白い人が多く、会って話せば刺激を受ける。翻って、自分がやりたいことをやるにはどうしたら良いか。もし自分のやりたいことが社会的に用意された選択肢のなかに見当たらないなら自分でやる他はない。そう思わせる、熱のある人に会うことができた。

来年の3月末で10周年を迎える宝塚NPOセンターです。10周年記念のチャリティコンサートの企画も進んで、チラシも出来上がっています。

センターのことを振り返ってみますと、よく続いたなあというのが本音です。しんどかったけれど、恵まれてもいました。

多くの市民に支えられ、寄付・会費も今までに4千万円ほどありますし、行政に事業を提案し獲得した助成金も2億5千万円にのぼります。もちろん、自主事業でも稼いできました。

時節だったでしょうか、NPOという言葉が市民にも浸透した10年でした。助成金のおかげで、若いスタッフも継続して雇用でき、今年も大学院卒の優秀な女性がスタッフに加わってくれました。若い世代が働く場としてNPOを選んでくれる時代になるなんて想像もできませんでした。

行政の規制緩和と行財政改革のおかげで民間への業務委託が進んだこともNPOにとっては追い風でした。

この10年間で全国に中間支援センターは300ヶ所程度できましたが、古株の当センターは「県庁所在地以外で、しっかり地域のニーズに根差して、しかも広域的に支援を続けているモデルです」とI I H O Eの川北秀人代表にほめていただけるまでになりました。

それはそれは、私もスタッフも必死に仕事をしました。こつこつと足元を見ながらニーズをこなし積み上げていく作業の連続でした。そしてまた、未開地の開拓作業のような、新たな事業開発も同時にこなしてきました。これは若者の力です。色々な人たちの支援を受けながら、やっと登ってきた山の中腹という感じでしょうか。でもこれからが問題です。

行政財源の逼迫やNPOへの資金調達の道がないこと、NPOの力不足など課題がある中で、いかに今後の10年を乗り切るかが大きく立ちふさがっています。

そんな大事な時期に宝塚NPOセンターができること。それは第一には社会から地域から必要とされるセンターになることです。

具体的にはコミュニティビジネスの起業やNPO法人の設立などの支援を親切丁寧に行っていきます。立ち上がった団体がうまく運営できるように専門家の知恵を借りながらのコンサルも行います。講座や研修も随時開催します。また、中間支援組織の使命であるネットワークの構築も必要です。

また、最近団塊世代の人からの相談が多くなっています。私も団塊世代なので気持ちが良く分かります。でも幸い私はNPOの経営者なので定年がなく生涯現役で働く覚悟でいるので、仕事をどうするかは悩みはありません。

一律に言われるのは、生きがいのある仕事をしたい、そして給料もある程度欲しいです。そんな方に仕事をマッチングしたり、起業のお手伝いをするのも重要な仕事です。

そして若者たちも悩んでいます。引きこもりやニートの問題がいわれているうちにネットカフェ難民など深刻な事態が起こっていて、これらのことにも対処していくのがNPOです。個々のNPOがサポートしていますが、どこに行けば相談にのってくれるのかが分からない状態ですので、きちんとしたネットワークをつくる予定です。

行政との協働も必要でしょう。急激に変わろうとしている行政に対して、市民やNPOが大きく関わる時代が来るような予感がします。

これまでの10年、これからの10年を見据えながら着々と地に足を付けて、あゆみを続けていきたいと思っています。

今までと変わらず皆様のご支援をどうかよろしくお願いします。(まだ少し早いですが、年賀状を割愛させていただきますので、お許しください。よいお年を！)

(特)宝塚NPOセンター事務局長 森綾子

宝塚・阪神北エリア情報



今回は NPO のパソコンのサポーター「パソコン活用隊」をご紹介します。
NPO から「メールが上手く出来ない」「パソコンをもっと事業に役立てたい」等
パソコンに関する相談も多くあり、専門知識を持つ「パソコン活用隊」と協力して
NPO の支援を始めています。今“旬”の頼もしい仲間です。

【パソコン活用隊の3人】3人とも、もとは民間IT企業の
の戦士！民間で学んだ事をもとに地域活動へ！！
今後とも宜しくお願いします

初めまして。パソコン活用隊の代表をしている細谷崇です。
パソコン活用隊は2007年1月に発足したばかりの出来たてはやはやの団体です。
メンバーは20代後半～30代前半と若いメンバーで活動しています。元IT業界にいた私達の知識・技術を使
ってNPOや、公益活動団体の【業務の効率化】や、【団体活動の情報発信】、【団体の経費削減】のお役に立
てないかと思いパソコン活用隊を発足しました。
現在、(特)宝塚NPOセンターと協力しながら・パソコン講座や、パソコンの無料相談・経費削減ツールの開
発・提供・その他パソコンに関するコンサルタントをさせて頂いています。
NPOや、公益活動団体の団体運営がもっともっと活性化するように、これからパソコン関連の支援をしていきま
すので、宜しくお願い致します。

NPO活動にとって、会員、関係者、そして、
地域の皆さんへ日々の活動やイベント情報を
こまめに発信する事は大変重要です！！
近頃では、はがきよりもメールを利用して情
報発信するNPOやボランティア団体が増えて
きています。そこで、パソコン活用隊では、手
間を省いて簡単に、一斉に、メールを送信出来
るソフトをNPOの方々に販売しています。
詳しくは下記まで！！



【宝塚NPOセンターとの打合せ～】
宝塚NPOセンターと協力して、どのようなパ
ソコン講座が必要か企画立案中・・・
皆さんのお役に立てる講座を実施します！！



【とある講座の風景】
Excelの実務講座。すぐに使える内容ば
かりでした。とお声を頂きました。
これで事務作業時間の短縮を期待！？

～問い合わせ先～
パソコン活用隊 代表：細谷 〒665-0021 宝塚市中州 1-7-20 八ツ村上阪神北NPOハズ 101号室
BLOG <http://www.hnpo.comsapo.net/pcdiary/> E-Mail : ict@hnpo.net

データ
で見る！

宝塚 + 阪神北エリアのNPO法人

2007年	3月末	10月末	人口比
全国	31116	未発表	
兵庫県	1009	1160	
尼崎市	64	69	6700人
西宮市	92	94	5000人
芦屋市	35	37	2500人
伊丹市	31	31	6200人
宝塚市	55	55	4000人
川西市	22	25	6300人
三田市	23	23	4900人
猪名川市	4	5	6200人
合計	326	339	

1法人当たり人口(2007年10月末データ)

「第7回ヴェーの街・宝塚 みんなで歌おうコンサート」
去る10月14日のコンサート・チャリティ・バザーでは、バザー商品
のご提供や当日お越し頂きありがとうございました。バザーの収益金はコ
ンサートの運営資金にさせていただきます。
開催日のご案内
日時：2008年3月23日(日) 14:00～16:00
会場：宝塚市立文化施設 ソリオホール
主催：みんなで歌おうコンサート実行委員会(NSSC・宝塚NPOセンター)
出演者：のんとろっぽ・元宝塚歌劇団-美野真奈、桐さと実、由梨かおる
宝塚NPO合唱団・岡田泰子のんのんバレエスタジオ
曲目：「ドレミの歌」「静かな湖畔」「すみれの花咲くころ」ほか

ニュー
フェイス！

NPO法人 メリーポピンズの会
場 所：宝塚市逆瀬台
活動内容：園芸ボランティアの支援・交流
認 証 月：2007年10月

祝 >>>平成19年度 阪神北青少年本部長賞受賞の決定！！
当セクターのイターンシップで、今年3月に開催しました「ミタからづか」で副
委員長を務めた、関西学院大学社会学部大学院生の大野真鯉さんに受賞が
決定しました。大学入学以来障害児のボランティアやミタからづか等、率先し
て地域での青少年活等の功績が認められての受賞です。

2007年12月～1月 宝塚NPOセンター主催講座案内・・・参加申込み受付中

NPO法人設立講座	NPO、CB入門講座	団塊・シニア世代 本音 de トークイベント
1月19日(土) 13:30～15:30 場所：宝塚NPOセンター NPO 法人設立件数 88 件の実績を持つ担当者が法人申請書の作成について、実例を交えて懇切丁寧に説明をします。NPO 法人の設立を考えている方、必見の講座です。講座後も設立のサポートをします。 (次回は3月予定)	12月19日(水) 13:30～15:30 場所：宝塚NPOセンター 第1部 NPO とは何か？CB(コミュニティ・ビジネス)とは何か？NPO 法人設立や市民活動、起業をお考えの方には入門編の講座です。 第2部 交流会 次回 2月予定 内容は同じです。	12月13日(木) 15:30～17:00 場所：宝塚NPOセンター シニア世代：定年退職後、地域でボランティア実践中！「楽しい」一言！ボランティアと余暇の過ごし方の極意をお教えします。 ゲストスピーカー：福本 章雄 ----- 1月19日(土) 団塊世代：主婦からボランティア、再就職を経てNPO 法人立ち上げ。起業が何より楽しい。失敗しない起業とは・・・。10年目を迎える宝塚NPOセンターの事務局長がお教えします。 ゲストスピーカー：森 綾子(宝塚NPOセンター) ----- 2月12日(火) シニア世代：行政マンから株式会社役員を経て、そしてNPOのスタッフに。充実シニアライフの見本。 ゲストスピーカー：吹曾 幸雄(生きがいしごとサポートセンター-阪神北)

お申込み・お問合せは事務局まで。内容は変更されることがあります。

会員継続のお願い

あなたの志が社会を変える活動を支えています。

NPO・NGOの先駆的で創造的な活動は、変革の担い手としての新しい市民社会の実現に貢献しています。志と情熱をもって社会の課題に挑戦する人を支援しています。皆様の会費や寄付は活動資金として、ボランティアとして提供される知識や技術は活動の活力となっています。どうぞ一緒に会員としてNPO・NGOを支える活動に参加してください。

[正会員] 個人会員 10,000円 団体会員(NPO・市民活動団体) 10,000円 法人会員 30,000円

[準会員] 3,000円

銀行振込：三菱東京UFJ銀行 阪急宝塚出張所 普通預金 3 6 2 9 4 2 2

口座名義 特・宝塚エヌ・ピー・オー・センター

郵便振替：口座番号 00930-8-77117 口座名義 宝塚NPOセンター 郵便振替用紙をご利用下さい。

ご支援ありがとうございます

新たに入会された皆さん [個人会員]五十嵐至 中山光子

[団体会員] 特・ともしび 自立支援の会きらら

寄付をいただいた皆さん 山楽会 今井愛子 黒木雅子 宝心会 マイクロソフト(株)社会貢献部

(順不同、敬称略 2007.11.20現在)

寄付のお願い

皆様から本センターに寄せられた貴重な寄付は、地域福祉や環境、まちづくり、子どもの健全育成などのさまざまな分野で活動するNPO・NGOを支援するための活動に活かされています。約100団体へ支援活動を提供し、社会的環境の整備にも取り組んでいます。昨年度は、41件、1,326,702円の寄付をいただきました。引き続き、温かなご支援で活動を支えてくださいますようお願い申し上げます。

事務所を
引越しました！

同じソリオ1の3階ですが、会議室の一番奥に移転しました。案内板をご覧ください。

特・宝塚NPOセンター

〒665-0845

宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F

Tel 0797-85-7766

Fax 専用 0797-85-7799

利用時間 9:00～18:00

休館日 日・祝日・年末年始

Email zukanpo@hnpo.net

URL <http://voluntary.jp/zukanpo/>

生きがいしごとサポートセンター-阪神北

Tel & Fax 0797-87-4350

0797-87-4351

Email cdc@hnpo.net

URL <http://voluntary.jp/hnpo-net/>

阪神北 NPO ハウス

〒665-0021

宝塚市中州 1-7-20

ハイツ村上101号

阪急逆瀬川駅から南口方面へ徒歩8分